

The background features a dense pattern of green circles of varying sizes, some with intricate internal patterns, scattered across the right side of the page. A solid vertical line runs parallel to the circles on the far right edge.

# 府中市庁舎建設基本計画

## 第1回市民検討協議会

2013年08月03日 10:00~

**1 依頼状の交付**

**2 副市長挨拶**

**3 事務局紹介**

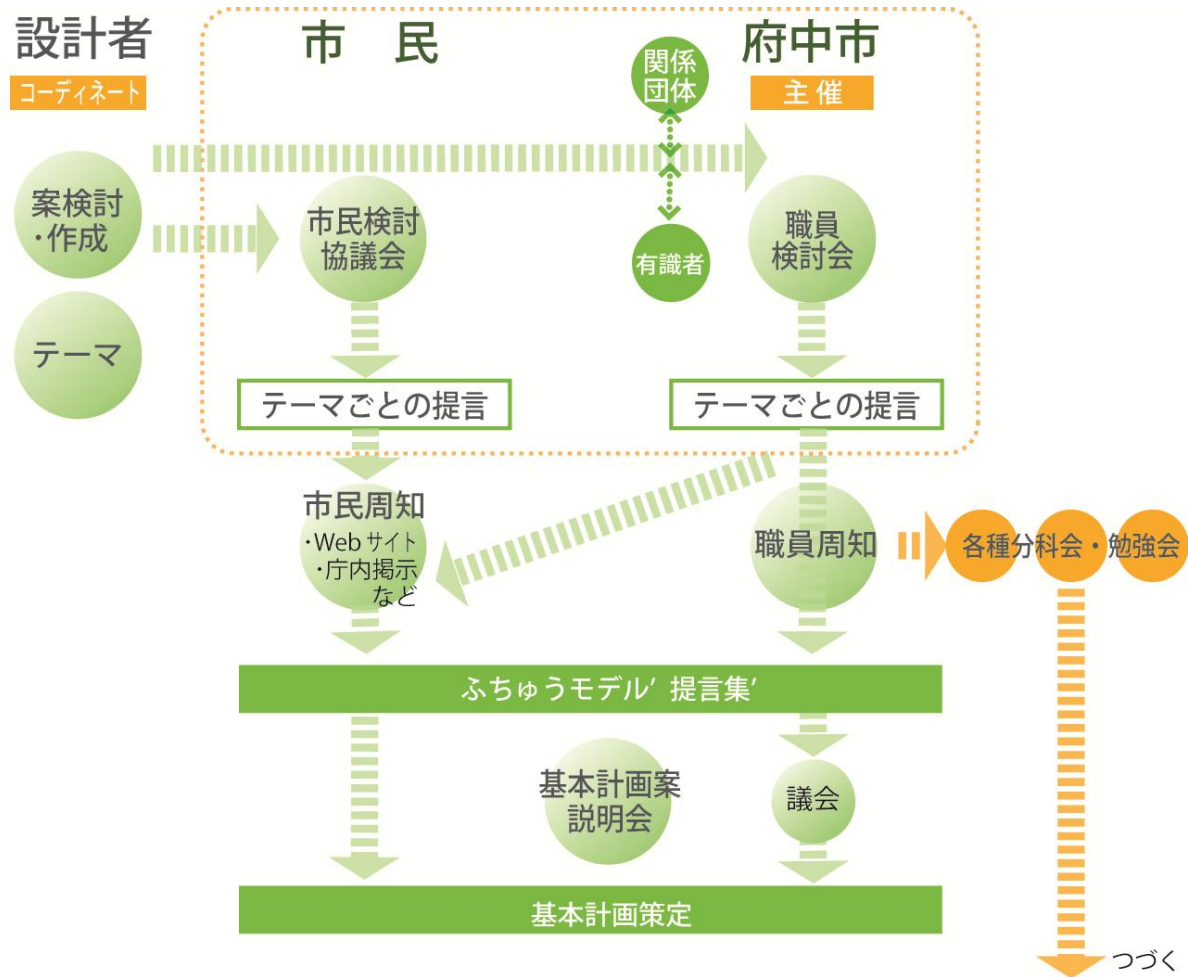
# 4

## 協議会の運営等について

# 5

## 庁舎建設に係る経緯等について

# 5-1 市民検討協議会の設置目的



# 5-2 今までの検討経緯

1. 現庁舎の抱える課題

2. 基本構想 (H23年8月)

- ① 既存庁舎の耐震性の欠如 (H21年度)
- ② 府中市庁舎建設検討協議会について (H23年度)
- ①～②以外の内容について

3. 府中市庁舎整備比較検討結果 (H24年3月)

4. プロポーザル (H25年6月)

5. 基本計画 スタート (H25年7月-)

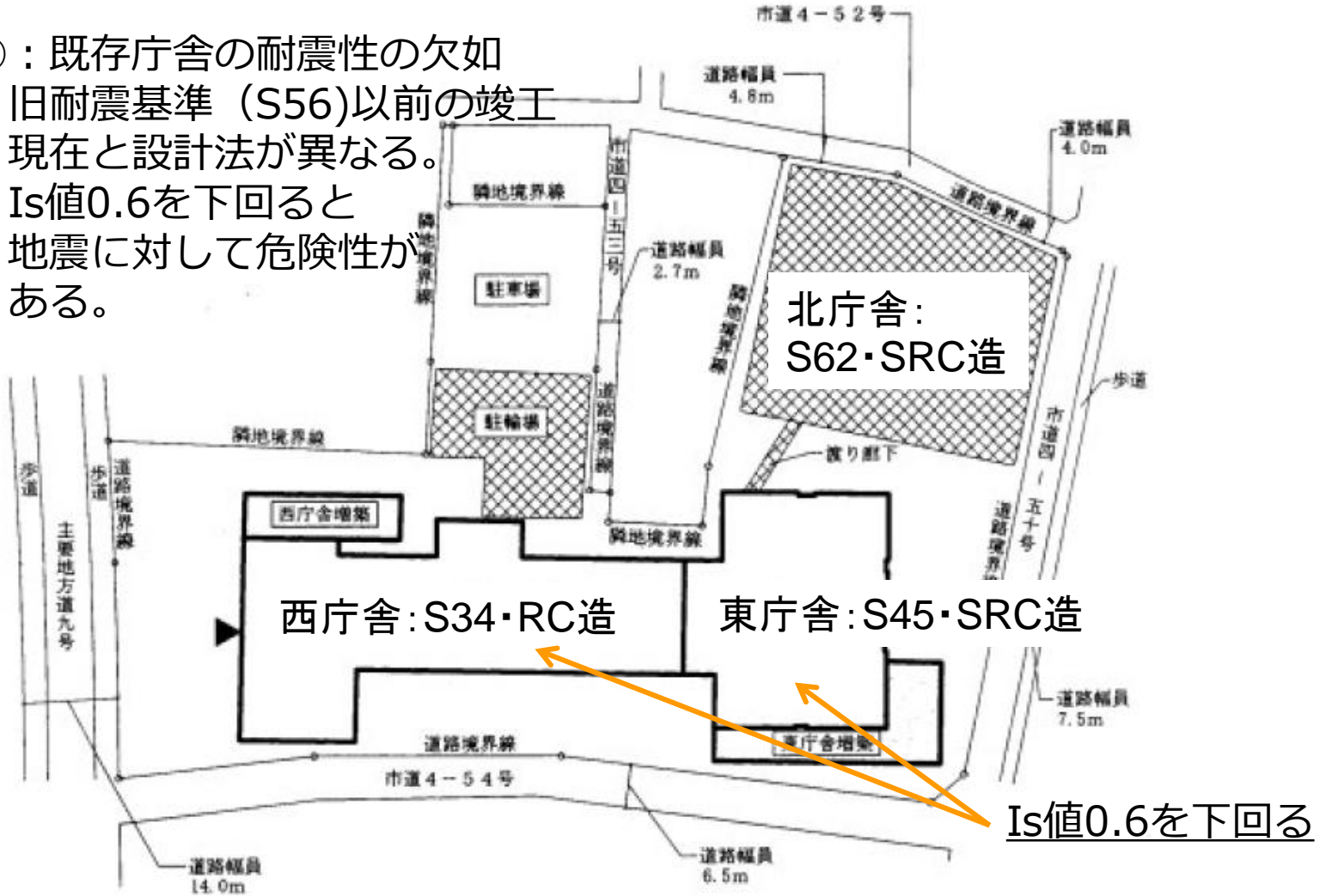
- ① 職員検討会
- ② 市民協議会

# 1. 現庁舎の抱える課題

1. 耐震性の欠如
2. 施設・設備の老朽化
3. 維持管理経費の増大
4. 狭隘化による窓口・執務環境の低下
5. バリアフリー対応への不足
6. 分散の状況

# 2.基本構想

- ①：既存庁舎の耐震性の欠如
  - ・旧耐震基準（S56）以前の竣工
  - ・現在と設計法が異なる。
  - ・Is値0.6を下回ると地震に対して危険性がある。



Is値0.6を下回る



## 2.基本構想

Is値 = 構造耐震指標

建物の耐震性能を表す指標。

建物の強度と粘り強さ、形状やバランス、経年劣化などの要素を総合的に判断する。

- $I_s < 0.3$  :地震に対して危険性が高い。
- $0.3 \leq I_s < 0.6$  :地震に対して危険性がある。
- $0.6 \leq I_s$  :地震に対して危険性が低い。

## 2.基本構想

②：府中市庁舎建設検討協議会について

- ・開催期間

H22年7月～H23年1月 全5回開催

H23年4月 府中市庁舎検討委員会より基本構想案報告

- ・構成

学識経験者、関係団体代表者、関係行政機関職員、公募市民 20人で構成

- ・検討内容

現庁舎の問題点整理、庁舎建設の基本的方針 など

## 2.基本構想

③：①.②以外の主な内容について

### ・新庁舎の基本理念と基本方針

「市民に親しまれ、府中らしさを受け継ぐまちづくりの拠点となる庁舎」

ア：市民に親しまれる開かれた庁舎

イ：環境に配慮した安全な庁舎

ウ：市民サービスのために使いやすい効率的な庁舎

エ：まちづくりとの連携を担い、市民が誇りを持てる庁舎

### ・新庁舎の規模

総務省の「地方債事業費算定基準」を参考にして算出すると、庁舎延床面積は約25,000 m<sup>2</sup>と試算されます。しかし、起債許可標準面積には、市民交流の場となる空間や福利厚生諸室等の面積を含まないので、他事例等を参考にすると、約29,000m<sup>2</sup>となります。

現段階では、不確定な要素が多いため、庁舎の規模の目安としては、約25,000 m<sup>2</sup>～29,000m<sup>2</sup>と想定します。庁舎の規模については、今後の具体的な検討（実態調査や必要な機能の整理）に基づいて見直します。

# 3.府中市庁舎整備比較検討結果

基本構想の中では、敷地形状についてA案・B案と、それぞれ建替え・改修などのパターンを分けた計10パターンで検証を行った。

- ・ A案：現敷地で建物を建築する場合
- ・ B案：現敷地を拡張して建物を建築する場合





その後詳細な比較検討を行い、点数で評価を行った。  
比較検討項目は下記の通り。

- ・ メリット、デメリット  
（機能的、環境的、防災的、施工、財源的、法的の各視点について）
- ・ 仮設庁舎費
- ・ 工事費
- ・ 工期

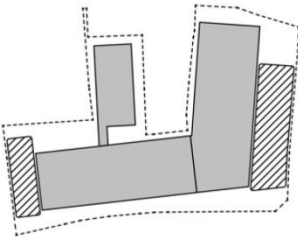
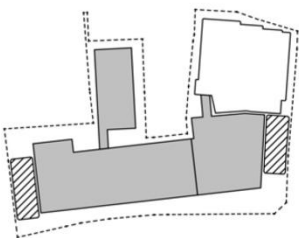
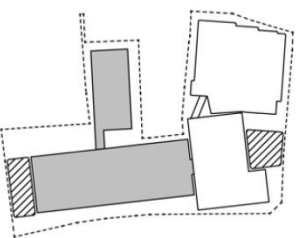
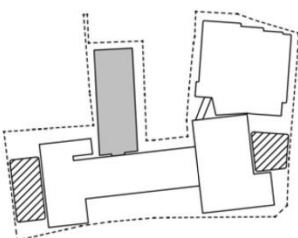
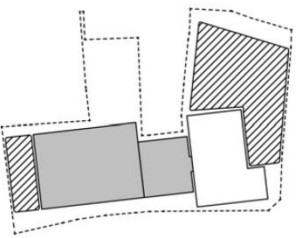
結果、最も点数が高い

**B-1-1案「現敷地を拡張して建物を建築」かつ「全て解体」**  
を整備パターンを基本の方針として進める方針

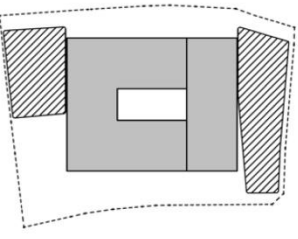
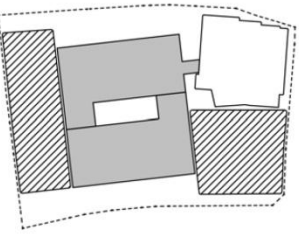
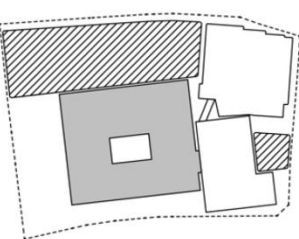
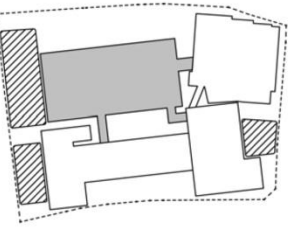
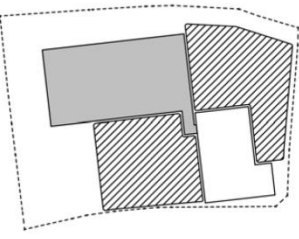
B-1-1案「現敷地を拡張して建物を建築」かつ「全て解体」  
 する整備パターンが最も点数が高い為、  
 基本的方針としてはB-1-1案で進める方針

- <凡例>
-  : 計画建物
  -  : 既存庁舎
  -  : オープン  
スペース
  -  : 敷地境界線

### A案：現敷地で建物を建築する場合

A-1-1案 (すべて解体)	A-2-1案 (北のみ残す)	A-2-2案 (北・東を残す)	A-3-1案 (すべて残す)	A-4-1案 (東のみ残す)
				
136点	104点	102点	90点	124点

### B案：現敷地を拡張して建物を建築する場合

B-1-1案 (すべて解体)	B-2-1案 (北のみ残す)	B-2-2案 (北・東を残す)	B-3-1案 (すべて残す)	B-4-1案 (東のみ残す)
				
160点	127点	113点	91点	131点

END